

東大高保育園と児童発達支援施設

新築工事の安全を祈願

武豊町

武豊町の東大高保育園と、隣接する児童発達支援のあおぞら園の老朽化に伴う新築工事の安全祈願祭が22日、建設地であった。

新施設は学校給食センターをまたいで現在の施設の北側に建てられ、敷地面積およそ5千平方メートルで鉄骨2階建て。2025年4月に供用を開始する。その後、現在の施設を解体し、新しい給食センターを整備。現在の給食センターも解体し、

跡地が園の駐車場となる。

安全祈願祭には、靄山芳輝町長ら町関係者や岩部建設(同町西門)など施工業者が参列。近くの知里付神社の宮司が祝詞を奏上し、参列者が玉串を納めた。靄山町長は「新施設は多様化する保育ニーズに応じた支援の充実を期待されている。無事に完工することを祈念する」と話した。(石井豪)



祝詞を奏上する宮司

武豊町東大高で